

各 位

会社名 山洋工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山本 伸士
 (JASDAQ・コード 8109)
 問合せ先 常務取締役管理本部長
 志村 七郎
 TEL(03)3464 8901

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しが発生しましたので、その概要をお知らせいたします。

また、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月5日付「平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

	単体
(A) 平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	48 百万円
(イ) 平成21年3月期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	201 百万円
(ロ) 直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)投資有価証券評価損の総額	153 百万円

四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
 当社の決算期末は、3月31日です。

純資産・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体
(B) 平成20年3月期末の純資産	1,784 百万円
(A/B × 100)	2.7 %
(イ/B × 100)	11.3 %
(C) 平成20年3月期の経常利益額	112 百万円
(A/C × 100)	42.9 %
(イ/C × 100)	179.5 %
(D) 平成20年3月期の当期純利益額	107 百万円
(A/D × 100)	- %
(イ/D × 100)	- %

(2) 投資有価証券償還損

平成21年1月13日に他社株転換条項付社債が償還日を向え時価の下落により、投資有価証券償還損44百万円を特別損失に計上いたします。

2. 繰延税金資産の取崩し

平成21年3月期末において、平成22年3月期の業績予想を踏まえ回収可能性を検討した結果、繰延税金資産全額449百万円を取り崩します。

3. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	60	80	135	25.82
今回修正予想(B)	11,220	116	144	467	89.36
増減額(B - A)	280	56	64	332	
増減率(%)	2.4	93.3	80.0	-	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,631	68	112	107	20.59

(2) 業績予想修正の理由

売上高については、制御機器及び電気材料部門が予想より14.2%減の4,068百万円、産業用電気機器部門が7.2%増の4,767百万円、工事部門が7.8%増の2,384百万円となり、その結果2.4%減の11,220百万円となる見込みです。

利益面については、産業用電気機器部門の売上の増加及び工事部門での大型物件着工に伴う稼働率の向上により原価が減少し、営業利益は予想より93.3%増の116百万円となる見込みです。経常利益は営業利益の増加に伴い予想より80.0%増の144百万円となる見込みです。

一方、投資有価証券評価損201百万円及び投資有価証券償還損44百万円の特別損失を計上し、また繰延税金資産の取崩し449百万円を計上したことにより当期純損失は467百万円になる見込みです。

その結果、上記のとおり平成21年3月期の業績予想を修正します。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上